

第6期 子ども司書講座 新聞 第4号

本の選書にチャレンジ!

第4回目の講座は、実際に本屋さんに行つて、本の選書(せんしょ)を行いました。選書とは、図書館の本を選ぶことです。

図書館では、どのように本を選んでいるのでしょうか?どんな本を選んで買うか、あるルールを決めています。選書方針(せんしょほうしん)といいます。子供向けの本ばかりではいけないし、読み物ばかりではダメです。他にも勉強に役立つ本はあるかな?同じ本はないかな?など、いろいろなことを考えています。実物の本を読んだり、いろいろな出版社が発売している本のカタログを見たり、インターネットで調べることができ、いろいろな方法で買う本を決めます。

自分で読みたい本やおすすめの本をあらためて「選ぶ」という作業はむずかしいけど、楽しいことでもあります。選ぶから、さがす楽しみや読む楽しみもあります。



みなさんには1人5冊〜10冊程度の本を選書してもらいました。これらの本を図書館で購入して本の登録をし、他のお友達にも読んでもらえるように専用の本棚も作りたと思います。

選書をした後のみなさんは、『楽しかった』『面白かった』『意外と難しかった』『たくさん本があって選ぶのに迷ってしまった』などの意見がありました。



こんなに沢山の本を選書してくれました。



みなさんに体験してもらったのは、実物の本を読んで決める方法で『見計らい選書』といえます。

今回は、潮来市内の大地堂書店さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。

次回の講座予定

次回の講座は、9月3日(日)午前10時〜です。出版社で働く人のお話を聞きましょう!
お楽しみに!!